

第二種電気工事士試験の補習

7月23日（土）に第二種電気工事士の実技試験が行われました。

第二種電気工事士は筆記試験と実技試験の二つに合格して取得できる資格です。

今年は1名の生徒が受験し、5月の筆記試験に合格、今回は実技試験にチャレンジしました。

受験するにあたり、4月から5月末までの期間は筆記試験の補習、6月から7月末までの期間は実技試験の補習を実施しました。

特に、暑い中での担当の先生とマンツーマンの補習はなかなか大変だったと思います。

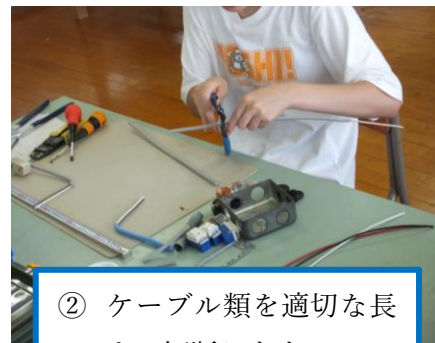
実技試験の補習を始めた当初は配線作業に1時間くらい掛かっていたのが、7月に入ってからミスも少なくなり30分前後で完成できるようになりました。

実技試験は制限時間40分で行われます。この記事を書いている現在では試験も終わっており、あとは結果を待つのみです。

長期間の補習をがんばったのですから、ぜひ合格してほしいです！



① 作業しやすい配線図を書きます。



② ケーブル類を適切な長さに切断します。



③ 切断したケーブルや器具を接続します。



④ 完成後は先生のきびしいチェック！